

「フェイクを見極める」

開催地：東京

グループ： 3班

2021.10.2

情報リテラシー教育を導入しよう！

なぜフェイクニュースを流すのか

可能性・・・タイトルで人の興味を惹くような嘘の内容を書き、アクセス数を増やしてその広告収入でお金を稼いでいる

どんなことが起きる？

発信源が**罪**に問われてしまうかもしれない
フェイクに対しての**誹謗中傷**が起きる

解決策（発信する側）

- ・ ネットは匿名ではないということ
- ・ 自身の発言、発信に責任を持つこと
- ・ 誤情報の発信を防ぐために、SNSに限らず普段の会話から自分の発言に気をつけること

↑ これらのことを授業で指導する

今まで発信する側への教育に焦点が当てられてなかったのでは？

受け取る側の問題点

- ・ 情報を見分けるために必要なリテラシーが足りない
情報の基礎知識や一般常識など
- ・ 情報の信憑性がわからないまま、拡散してしまう

リテラシーに関する学習が教科書を読むだけだった人も多く、リテラシーを体験して獲得できないので薄いものになっているのではないか？

解決策（受け取る側）

- ・義務教育中にリテラシーを培う授業やイベントを行う。

↑ 授業に対する意欲の差からリテラシーの差が生まれないようにイベントやアクティブラーニングなどを行う

具体的な対策

ゲームを作ってみる！

カードゲームなどを授業やイベントなどで学習教材として用いることで楽しく身につけられる。

例：シュミレーションカードゲーム

拡散することでどんな影響があるか

間違い探し～フェイクニュースを見破れ～

まとめ

すべての人にネットリテラシーの知識を
身に着けやすい教育を行おう！